

会議録

会議の名称	令和3年度第1回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和3年5月18日 午後2時から午後3時53分まで
開催場所	田無庁舎 第3委員会室
出席者	<p>【委員】 山谷委員、植村委員、福田委員、小早川委員、平山委員、鈴木委員、澤野委員、一方井委員、根本委員、河上委員、渡部委員、田中委員、岩崎委員（欠席委員）飯塚委員、島田委員</p> <p>【事務局】 青柳部長、菱川課長、河合課長補佐、本多清掃係長、岩崎技能長、池内技能主任</p>
議題	<p>(1) 廃棄物処理の近況について</p> <p>(2) 資源物集積所跡地の活用方法について</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>(4) その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 今後の審議スケジュール案</p> <p>資料2 令和2年度ごみ質組成分析結果報告</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(発言内容等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長から開会の挨拶 2 新任委員の紹介 3 報告 4 市長から諮問 5 計画策定支援業者の代表者紹介 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後の審議スケジュールについて (2) 一般廃棄物処理基本計画の検証について (3) その他 特になし 	

(新任委員紹介)

楠田委員の後任の紹介・挨拶

就任委員：植村委員（学識経験者） 4月1日就任

(報告)

4月の人事異動に伴う事務局職員の紹介

(市長から会長へ諮問)

一般廃棄物処理基本計画改定及び災害廃棄物処理計画策定について市長から会長へ諮問

(計画策定支援業者の代表者紹介)

(株) エイト日本技術開発 鈴木氏の紹介・挨拶

(委員からの主な意見等)

議題 (1) 今後の審議スケジュールについて

事務局：資料1の日程案のとおり防災・保谷保健福祉総合センターで開催する。(全委員了承)

議題 (2) 一般廃棄物処理基本計画の検証について

事務局：令和2年度に市で実施した組成分析の結果を報告

委員：食品ロスの中に缶という分類があるが、中身が入っているものか。小型家電は、排出量が減っているのではないか。5年前の計画策定時と同じ場所で調査を実施しているが、田無駅に近い南町などで実施すると結果が違うのではないか。

事務局：調査にあたり食品ロスの定義を設けており、野菜は3分の1以上残っているもの、缶は空けていない中身の入っているものとしている。コロナ禍で昨年の4・5月は、国の給付金が出て買い替えのため小型家電の排出量が多かったが、現在は落ち着いており、減少傾向にあります。
駅の近くで調査を実施すれば、結果は変わってきます。場所の選定は、比較するために前回と同じとしているが、今後は、駅の近くと住宅街を選んで実施することも検討したい。

委員：長期間住んでいる市民が多い地域で調査を実施しているが、当市は分別が細かいため、駅の近くでなくても良いので、新しくできた住宅街でも調査を実施すると別の状況が分かると思います。

事務局：次回の計画策定時は、住民異動の状況も考慮した調査を検討したい。

委員：医療器具を家庭ごみに出す人がおり、医療機関の人などが話をして安全な回収方法を説明してほしいと思います。不燃ごみの出し方も、エコ羅針盤などでもう一度周知をすると良いのではないかと思います。

会 長：医療廃棄物は、数年前に多摩地域の自治体できちんと排出してもらおうと取り組んでおり、本審議会でも説明を受けたことがあります。注射器は、西東京市だけの問題ではなく、処理には危険を伴うため、患者にきちんと排出方法を説明する必要があります。

委 員：高齢になり、出し方が分からなくなってきた時に関係者が連携して対応しないといけないことになり、難しい問題です。

会 長：ケアマネージャーを含めて関係者にあらためて協力を得ることが大切です。収集に携わる委員の方で、最近のコロナ禍でごみの排出状況で気が付いたことはありますか。

委 員：マスクがむき出しで指定収集袋に入っていることがあり、袋に入れて縛ってから可燃ごみの指定収集袋に入れて出してほしいです。注射器も重さや音に注意して確認するようにしています。

委 員：古紙の中にも使用済みの不織布マスクが出ていて困っています。感染予防のため、作業員にはなるべく長袖を着て作業するように指示しています。また、可燃ごみに出すはずのピザの箱も古紙に出ています。最近は通販のダンボールも多く出ています。プラスチック容器包装類のカップ麺容器が古紙に出ていることが多く、壊れないように作られているため、溶かして再利用するのに処理できずに困っています。

会 長：缶詰も中身が残っているものを不燃ごみに出されると困ります。不燃ごみの処理は、手選別かそれとも機械で行うのですか。

事務局：柳泉園組合では、手選別を行った後で機械により選別し、固形燃料などにリサイクルしております。

会 長：柳泉園組合では、缶詰の中身がある場合は、可燃ごみに入れるのですか。

事務局：手選別で判明すれば中身を可燃ごみで処理しますが、気が付かなければ破砕機にかかり、粉々になって色々な廃棄物に付着してしまいます。

会 長：市民の皆さんには、きちんと分別をして出してくださいと周知するしかないです。

委 員：プラスチックの分別が難しいので、説明で判断材料があればと思います。

事務局：判断基準としては、プラスチック容器包装類にはプラマークがついていることです。容器や包装類となっているプラスチックが該当します。商品として売っているプラスチックは不燃ごみになります。簡単な判断方法として、プラスチックの商品は不燃ごみで、商品を入れているプラスチックは容器包装類になります。ペットボトルでは、剥がしたキャップとラベルはプラスチック容器包装類になります。

委 員：エコプラザ西東京で新型コロナウイルスワクチンの接種を行っていますので、待っている間にマスクの捨て方などの案内を出したら良いのでは。

事務局：ワクチン接種後の待ち時間に映像を流しており、マスクの捨て方も流しております。

委員：見本を置いたらどうですか。

事務局：これから65歳未満の市民の接種も行われますので、検討したいと思います。

会長：事務局からほかにありますか。

事務局：今話題になっているプラスチックについては、容器包装と製品との区別が難しいことや地域によって処理の仕方が違う現状があります。政府が今国会にそれらを一括で回収するという法案を出しており、一般廃棄物処理基本計画の改定にあたっては、それも大きな課題と考えております。中間処理施設の受け入れ体制や回収後の処理などが国から示され、改定作業に間に合えば、何らかの形で折り込めればと考えております。

会長：色々な課題も出てくると思います。収集量も増えるので自治体の経費負担も増えることになります。